



題字は創立者 柴田徳次郎 発行所 学校法人国士館 千154-8515東京都世田谷区世田谷4-28-1 編集 広報課 ☎03-5481-3115



国士館大学新聞は ウェブサイトでも ご覧になれます



www.kokushikan.ac.jp/information/public\_relations/news\_paper/ 年4回・25日発行 (1・4・7・10月)

卒業生の皆様へ いつも国士館大学新聞を ご愛読いただき、ありがとうございます。 発送停止やご住所の変更は下記までご連絡くださいますようお願いいたします。 同窓会事務局 TEL: 03-3413-7303 [平日 9:00~17:00]

今号の紙面

- 1面 9月学位記授与式 理事長・学長からメッセージ
2面 大学拠点接種7000人に実施
3面 東京2020大会 本学学生・卒業生も躍動
4面 全日本学生新体操・女子団体総合で悲願の初優勝
5面
6面

地域連携 大学が総合拠点に

今年7月に発生した、静岡県熱海市の伊豆山土砂災害では多くの被害がもたらされた。温暖化により増大した豪雨や首都直下型といった地震への懸念も高まる中、私たちは改めて「防災」と向き合う必要がある。国内外で多くの被災地へ足を運び調査・研究を続けてきた理工学部まちづくり学系の橋本隆雄教授に、近年の災害の脅威、大学が担う役割について聞いた。

理工・橋本隆雄教授に聞く

◆土砂災害の現場から復興への道のり
熱海・伊豆山土砂災害では、土石流で20人以上の方が亡くなりました。私は発生直後から現場に入り、10月には静岡県と熱海市の依頼で現地を視察しました。今回の土石流は、排水対策、砂防えん堤のない盛り土が大量の水を含み崩壊した「人災」です。宅地以外の盛り土に対する規制がなく、国が緊急に法整備をする必要があります。今後は静岡県と熱海市のアドバイザーとして、砂防えん堤の再構築と河川整備、そして街の復興計画を住民と

防災まちづくり 急務



伊豆山土砂災害現場。土砂のほとんどが地区外に運搬され、元の状態に整地されていた(令和3年10月4日橋本教授撮影)



事前復興の一環として、静岡県焼津市花沢地区の石垣修復に学生とともに携わる。文化庁・文化財保存協会・自治体に対し、石垣修復の施工方法を説明する橋本教授(令和2年10月撮影)

「事前復興」で命を守る

◆防災は教育に力を入れる
本学は防災教育に力を入れており、学生の多くが災害時に対応できる知識と技術を学んでいます。また研究室では「防災まちづくり」の観点で耐震補強の研究も進めています。大学が行政と住民のパイプ役になり、防災を学んだ学生が地域防災を主導できれば、被害を最小限に抑えることが可能です。学生には、人命をいかに守るか、微力でもいかに考えたいと伝えたいです。本学の意味での防災は、人間の意思での世に貢献できる国士を育てたいですね。(令和3年10月取材)

秋期授業 一部オンライン継続



学生が行き交う世田谷キャンパス

感染予防へ警戒緩めず

緊急事態宣言下の9月18日から、本学は秋期授業を開始した。春期授業に引き続き、対面授業を基本に全体の約2割となる。部目をオンライン授業とし、宣言解除となった10月1日以降もこの措置を継続している。

クラブ活動 制限を一部緩和

これまで活動人数の制限や宿泊を伴う合宿の禁止など、多くの制限の中で活動を続けてきたスポーツ協会の指導クラブを除く課外活動クラブは、活動条件を一部緩和し、引き続き限定的な活動を続けている。

柔道日本 男子監督



鈴木教授が就任

鈴木新監督は、これまで体制を継承する方針を示した上で、3年後に迫るパリ五輪に向けて、「培ってきたものをさらに高め、め細かに指導に落としこみ、導き出す」と意気込んでいる。世界で勝つための指導力が必要と話し、講習や合宿を通して、コナナへの指導力を向上させる。

パリ五輪見据え

9月28日開催の全日本柔道連盟の臨時理事会に、本学柔道部監督として選出された。講習や合宿を通して、コナナへの指導力を向上させる。

東京2020 さまざまな活躍



自転車競技ロードレースのコースとなった多摩キャンパス前の根根幹線道路を各国選手が駆け抜けた(令和3年7月24日撮影)

医療サポートも

57年ぶりに東京で開催される、エンゲルソン大会に花を添えるべく、本学からは在学生・卒業生合わせて7人が選手として参加した。そのほか、ボランティアや競技スタッフ、医療サポートとして大会運営を支える、選手団の一員として選手をサポートした。

予約制で3250人來場

オープンキャンパス開催

本学は、8月28日、9月25・26日をキャンパスで来場型オープンキャンパスを開催し、受験予約制として来場者数を制限し、感染対策を講じた上で実施している。

鶴川祭 3年ぶり開催

來場者は学内限定

10月16・17日に町田キャンパスで鶴川祭が開催された。令和元年は台風19号の影響で、昨年は新型コロナウイルスの影響で中止となり、実に3年ぶりの開催となった。当日は、趣向を凝らしたステージ企画や各団体による教室展示などが開かれ、目玉のお笑いライブでは、会場が終始笑顔に包まれた。

同窓会から寄付受贈

13日に世田谷キャンパスで贈呈式が行われた。国士館大学同窓会の坂本会長は、各学部の代表として鶴川祭実行委員長の加藤さん(法3年)に合計200万円の目録を手渡した。

経営学部創設10周年

経営学部創設10周年を記念する式典・講演会が11月23日(日)に世田谷キャンパスで開催される。「SDGsと中堅・中小企業」と題して、SDGsに積極的な取り組みを推進する企業・団体に講演の機会を複数会場に配信する予定。登壇者は次のとおり。[基調講演]赤羽真紀子氏(C&P事務局長)

入学要項概要表: AO選抜, スポーツ・武道選抜, 一般選抜(デリバリー選抜), 一般選抜(中期選抜), 一般選抜(後期選抜), 一般公募制推薦選抜, 一般選抜(前期選抜). Includes dates for application, exam, and enrollment.

KOKUSHIKAN UNIVERSITY 2022. Includes contact information for admissions: TEL: 03-5481-3211, E-mail: ad1@kokushikan.ac.jp